

① 問題の発見・確認

活動内容

- ・年間指導計画を基に、児童が共通の問題として解決していく「題材」を設定する。
- ・授業で取り上げる内容を決め児童に伝え、問題意識を共有する。
- ・問題の内容に関わる資料や児童のアンケートの収集・整理と提示。
- ・授業で取り上げる課題について自分の現状を捉え、解決の見通しがもてる「他教科の学び・生活経験の想起」。
- ・問題の内容に関わる資料やアンケート結果の掲示、学級活動(2)(3)のワークシート配布を書く。

② 解決方法の話合い

活動内容

- ・自分の課題として捉えた状況、その原因の考察。
- ・原因を明確にし、解決への見通しをもち、解決方法やめあてを意思決定する必要性の自覚。
- ・話合い(集団思考)を通して課題の解決方法を考える。

⑤ 振り返り

活動内容

- ・振り返りの内容をもとに実践の状況に応じた解決方法の継続や再構成へ。
- ・実践状況を捉える視点として
 - もっとよくするには?
 - 大切にしたいことは?
 - 変えたいことは?
 - どうやって変えるか?

④ 決めたことの実践

活動内容

- ・意思決定したことの実践。
- ・意思決定したことを記述したワークシートによる実践状況の振り返り。

③ 解決方法の決定

活動内容

- ・話合い(集団思考)を通して共有された解決方法や、めあてと自分の課題を関連付けて考える。
- ・強い意志をもって、個に応じた具体的な実践方法やめあてを意思決定する。
- ・意思決定したことをワークシートに記入する(具体的な行動目標として)。
- ・終末の助言 実践への期待